



議会だより

No.161

発行
令和5年
7月26日(水)



史跡巡り その1

片島の魚雷発射試験場跡は、現在、竹灯ろうまつり等のイベントが開催され、観光スポットの一つとなっています。

- P.2 議会構成決まる **新議員紹介**
- P.4 5月臨時会 **常任委員会等設置**
- P.6 6月定例会 **特別委員会設置**
- P.9 一般質問 **6名が登壇!**

QRコードから議会ホームページ
にアクセスできます。



議会構成決まる

気持ち新たに諸課題に取り組む

4月23日の町議会議員選挙で、14人の新議員が決まりました。

5月10日に初議会（臨時会）が開かれ、正副議長の選挙と各常任委員会の委員の選任がおこなわれ、議会の構成が決まりました。気持ち新たに4年間の任期がスタートしました。

議長挨拶

村井達己



より身近な議会を
目指して

4月の統一選挙で選ばれた、新しい14人の議員による初議会（臨時会）が5月10日に開催され、正副議長、二つの常任委員会と議会運営委員会の構成を決定しました。また6月定例会では議会広報広聴特別委員会、ダム対策調査特別委員会、議会だより編集特別委員会を設置して、それぞれの課題に対応した委員会体制が整い、新たなスタートを切りました。

私も二期目となる議長就任となり、これまで以上に身の引き締まる思いであります。

「コロナ感染もやっと減少傾向にあり、これまでで中止、延期、縮小となっていた議会活動も積極的に取り組み、引き続き町民の負託に応え得る身近な議会として活動してまいります。」

少子高齢化や人口減少をはじめ、本町が抱える諸々の課題や、議員の定数問題、なり手不足といった課題に対応するためには、町民の皆様と身近に接する機会をつくり、その声を参考にし、活かしていくという事が大事であり、議員の役割は今まで以上に重要なものになってまいります。

そこで、議会・議員の基本的な姿勢として、

① 議会は合議制であり、意見を出し合い議論を深め、方向性、結論を迅速に導き出し、意思決定をすることが重要であり、決定した方向に向け一致協力して取り組まなければ、議会としての役割を果たせないと考えます。

② 議員がただ単に町民の声

と心を代弁するだけに終始することなく対話を重ね、議会の機能と権能を活かして、積極的に政策提案をおこなうことが、議会・議員の務めであり、住民全体の福祉向上と地域社会の活力ある発展につながるものと考えます。

以上の考えを基に、行政と議会は車の両輪であり、二元代表制の一翼を担う議会・議員として自己研鑽に努め、馴れ合いになることなく是々非々の姿勢に立ち「より身近な議会」「政策提案型の議会」を目指し、「安全で安心して暮らせる、住み良い町づくり」に参画してまいりますので、今後とも町民皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副議長挨拶

小谷龍一郎



新しい14人のメンバーになり、5月臨時会及び6月定例会において委員会構成や特別委員会の設置等が決まりました。

近年議会を取り巻く環境は、議員定数や議員報酬の見直し、議員の倫理観など厳しい目が向けられています。そのような中、これからの議会改革を推進するため、議員各位の協力を得ながら、公平公正な議会運営を図るとともに「身近な議会」「信頼が得られる議会」を目指し、副議長として議長を補佐し、町民の皆様との対話の機会を増やしながら、わかりやすく開かれた議会を目指せるよう尽力してまいります。

新議員紹介

左から議席番号・氏名・年齢・地区名
(年齢は、令和5年7月1日現在)



1 堀田 一徳 (73)
東小串



2 増山 真理 (48)
三 越



3 山口 隆 (77)
石 木



4 坂中 信浩 (62)
岩 立



5 炭谷 猛 (72)
川 原



6 辻 清人 (68)
東白石



7 毛利 喜信 (48)
中 組



8 小牟田 一紀 (65)
栄 町



9 堀池 浩 (66)
東小串



10 田口 一信 (74)
中 組



11 小田 成実 (71)
西白石



12 山中 美由紀 (64)
中 組



13 小谷 龍一郎 (47)
若 草



14 村井 達己 (72)
三 越

A 本町議会の議席は、初議会の折にくじ引きをおこない、それによって議長が議席を指定します。

Q 議席番号はどうやって決まるの？

ギカイのはな



5月臨時会

(5月10日開催)

【専決処分の承認】 全会一致ですべて承認しました

議 案	内 容
令和4年度川棚町一般会計補正予算（第10回）	決算見込みによるもの
令和4年度川棚町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4回）	決算見込みによるもの
令和4年度川棚町後期高齢者医療特別会計補正予算（第4回）	決算見込みによるもの
令和4年度川棚町介護保険事業特別会計補正予算（第3回）	決算見込みによるもの
令和4年度川棚町観光施設事業特別会計補正予算（第3回）	決算見込みによるもの
川棚町税条例の一部を改正する条例	法律等の改正に伴うもの

【報 告】 報告を受けました

議 案	内 容
令和5年度川棚町一般会計補正予算（第1回）	住民税非課税子育て世帯等への 給付 ほか
川棚町子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例	法律の改正に伴うもの
川棚町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	規定の適正化をおこなうもの

川棚町監査委員選任の同意

堀池 浩 議員

全会一致で同意しました。



監査委員とは

町の財政に関する事務の執行及び経営管理をチェックする独立した機関です。

人数は2人で、識見を有する者及び議員のうちから推薦された者を町長が議会の同意を得て選任します。任期は4年です。

その他の

各種委員の選任

●東彼地区保健福祉組合 議会議員

堀 池 小 村
池 谷 井
清 龍 達
浩 人 郎 己

※東彼地区保健福祉組合議会は、東彼杵郡内各町議会から選任された正副議長を含む各4人の議員で構成されています。

●後期高齢者医療広域連合 議会議員

村 井 達 己

●都市計画審議会委員

堀 増 坂 小
田 山 中 牟
一 真 信 田
紀 浩 理 田



新しい委員会構成

令和5年5月臨時会にて新しい常任委員会と議会運営委員会が決められました。



総務厚生委員会

(6人)

総務課、企画財政課、税務課、会計課、健康推進課、長寿支援課、住民福祉課、選挙管理委員会、議会事務局及び監査委員の所管に属する事項について調査をおこない、審査する。

委員	委員	委員	委員	委員長	堀池 浩
員	員	員	員	副委員長	小谷龍一郎
小牟田一紀	毛利喜信	辻清人	増山真理		



産業建設文教委員会

(7人)

産業振興課、農業委員会、建設課、水道課、ダム対策室及び教育委員会の所管に属する事項について調査をおこない、審査する。

委員	委員	委員	委員	委員	委員長	山口 隆
員	員	員	員	員	副委員長	山中美由紀
小田成実	田口一信	炭谷猛	坂中信浩	堀田一徳		



議会運営委員会

(6人)

議会を円滑、効率的に運営するため、会議規則、委員会に関する条例等や議長の諮問に関する事項について調査をおこない、審査する。

委員	委員	委員	委員	委員長	毛利 喜信
員	員	員	員	副委員長	小田 成実
山中美由紀	堀池浩	小牟田一紀	山口隆		

6月定例会

令和5年6月定例会は、6月15日（木）から21日（水）まで開かれ、令和5年度一般会計補正予算（第2回）など、町長提出の議案13件全てを可決・同意し、報告6件を受けました。

【議案】 全会一致で可決しました

議 案	内 容
令和5年度川棚町一般会計補正予算（第2回）	福祉医療費補助金、コミュニティ助成金、低所得世帯重点支援交付金費 など

【同意】 全会一致で同意しました

内 容	説 明
川棚町農業委員会委員の任命について同意を求める件（12件）	農業委員会委員の任命

【報告】 報告を受けました

内 容	説 明
令和4年度一般会計予算の繰越明許費繰越計算書	新型コロナウイルス感染症対策予防接種事業費 など
令和4年度一般会計予算の事故繰越し繰越計算書	道路橋梁費 公共土木施設災害復旧費
令和4年度川棚町観光施設事業特別会計予算の繰越明許費繰越計算書	大崎温泉しおさいの湯バルブ取替工事
令和4年度川棚町下水道事業会計予算の繰越計算書	東小串第4マンホールポンプ緊急修繕工事 惣津地区汚水枝線（その9）開削工事 など
令和4年度川棚町水道事業会計予算の繰越計算書	惣津地区汚水枝線（その8、9）開削工事に伴う水道管移設工事
川棚町債権管理条例に基づく債権放棄の件	消滅時効に係る時効期間の満了

6月定例会で3つの特別委員会を設置

議会広報広聴 特別委員会（13人）

地方分権時代における地方議会には、議会活性化、議員資質の向上に加え、情報発信と情報収集が求められており、今後、町民と接する機会を数多く作り、さらなる開かれた議会を目指さなければならぬ。

町民の負託に応える責務及び使命を達成し、もって町政の発展に資するよう有効な活動をおこなうため設置する。

委員長	小谷龍一郎
副委員長	小田 成実
委員	議長を除く全議員

石木ダム対策調査特別委員会（8人）

石木ダム建設は、町民の生活環境に大きく影響する事業である。

これまで議会として、石木ダムは安全・安心な町づくりの観点から必要性を認めてきたところである。

加えて、周辺地域整備など石木ダム建設に関連する事業は、町の施策と財政に大きく関わるものである。

本事業については、すでに土地収用委員会の収用裁決及び明渡裁決が出されているが、住民等による反対運動が続けられている状況であり、早急な解決の道を探ることが望まれる。

本事業の状況を把握し、調査研究する必要があるため設置する。

委員長	田口 一信
副委員長	坂中 信浩
委員	堀田 一徳
委員	炭谷 猛
委員	辻 清人
委員	小牟田一紀
委員	堀池 浩
委員	小谷龍一郎



議会だより 編集特別委員会（6人）

議会の審議・審査の経過・結果及び議会活動を広く住民に周知するため、町民の声を聴き、その内容についても紹介し、より身近な機会となるよう議会だよりの発行は欠かせないものである。

引き続き議会だよりを発行するため設置する。

委員長	小田 成実
副委員長	山中美由紀
委員	増山 真理
委員	坂中 信浩
委員	辻 清人
委員	小牟田一紀

各常任委員会の閉会中調査項目

総務厚生委員会

- 1 事件 地域公共交通について
- 2 期限 調査終了まで
- 3 理由 高齢化社会や免許返納などで、地域公共交通について課題となっているため調査する必要がある。

産業建設文教委員会

- 1 事件 大崎観光施設の指定管理のあり方について
 - 2 期限 調査終了まで
 - 3 理由 大崎観光施設の指定管理者制度、運営のあり方については、令和3年12月に「川棚町観光施設運営あり方検討会」が設置され、指定管理者制度等について検討され、令和4年9月に答申が出された。
- その答申を受け、現在役場内の検討委員会で検討され、令和5年9月にその方向性が示される予定である。令和7年4月からの新しい管理に向け、指定管理者制度、および観光施設の有効活用等について調査するため。

インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に提出することを求める請願

請願者 東彼民主商工会

会 長 川原照男
 事務局長 朽原明浩
 紹介議員 炭谷 猛
 辻 清人

内容 2023年10月からのインボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に提出することを求めるもの。

総務厚生委員会報告（要旨）

消費税インボイス制度に関しては施行が令和5年10月と迫っており、国では様々な検討が進められている。経過措置も設けられており、その間にそれぞれの対応がされていくものと思われる。税の公平性という観点から見て、この制度は必要なものであると考える。

賛成討論 炭谷議員

この制度はすでに発行業者の登録申請が始まっている。コロナ禍等により自営業者の経営危機が高まっており、この制度に対応できる状況でない。延期を求めたほうが良いと判断し、賛成する。

賛成討論 辻議員

商売や事業をされている方、一般家庭の家計、事業者の経費負担も増加する。また、仕組みも煩雑になるためしばらく延期が必要と判断し、賛成する。

反対討論 小牟田議員

この制度は国が主体となって定めた制度であり、本年10月1日からの運用が決まっている。税の公平性や、過年度の経過措置を踏まえ、反対する。

採決

賛成少数により、不採択とすべきものと決定

賛否表

○は賛成 ●は反対 -は除斥

		議席番号													
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
結果		表決数 賛成:反対	堀田 一徳	増山 真理	山口 隆	坂中 信浩	炭谷 猛	辻 清人	毛利 喜信	小牟田 一紀	堀池 浩	田口 一信	小田 成実	山中 美由紀	小谷 龍一郎
5月臨時会	専決処分の承認（令和4年度川棚町一般会計補正予算（第10回））ほか4件	承認 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	専決処分の承認（川棚町税条例の一部を改正する条例）	承認 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	川棚町監査委員の選任について同意を求める件	同意 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○
6月定例会	川棚町農業委員会委員の任命について同意を求める件 ほか11件	同意 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	令和5年度川棚町一般会計補正予算（第2回）	原案可決 全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に提出することを求める請願	不採択 2:11	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●

一般質問 6名が登壇!

6月定例議会の一般質問は
15日(木)におこなわれました。

町長・教育長の考えを問う!

一般質問とは……

町政全般の諸課題について、本会議で町長等に質問するものです。
質問時間は、答弁を含めて50分以内です。

会議録は、ホームページ及び中央公民館図書室で閲覧できます。

- ① 堀田 一 徳 議員 (P.10)
☆実効性のある少子化対策を
- ② 堀池 浩 議員 (P.11)
☆避難所における簡易ベッドの利用は
☆子宮頸がんワクチン接種について
- ③ 山中 美由紀 議員 (P.12)
☆町有施設の屋外トイレ清掃を業者に委託しては
☆児童生徒の不登校対策について
☆木場・川原地区の児童生徒の通学路について
- ④ 増山 真理 議員 (P.13)
☆川棚発「長崎バイカーズミーティング」の川棚開催を
- ⑤ 辻 清 人 議員 (P.14)
☆石木ダムについて
☆子育て世代の支援について
☆高齢者支援について
- ⑥ 炭谷 猛 議員 (P.15)
☆石木ダム建設現場「川原郷の自然環境」を守りたい



実行性のある少子化対策を

保育料・医療費・給食費の無償化検討を指示している

町長



堀田 一徳 議員

実効性のある少子化対策を進めるためには、国の制度を活用するばかりでなく、思い切った支援が重要である。

堀田 本町の少子化の状況は深刻である。

未婚化対策や結婚・妊娠・出産・子育てしやすい環境の整備や、結婚祝い金などの増額はできないか。

町長 コロナ禍もあり、婚活イベントの開催を見送っていたが、県と東彼三町合同により、秋頃にイベントを実施できればと考えている。

結婚祝い金については、本町内で新生活を送る方を対象に、住居費やリフォーム代、引っ越し費用などを支援する「川棚町結婚新生活支援補助金」を交付している。これと別に結婚祝い金制度を創設する考えはない。

また、妊娠・出産を控

えた世帯に対しては、妊娠届時と出産時にそれぞれ5万円、合わせて10万円を交付しており、子育て世代の方の定住を促進するためには、一時的な祝い金よりも、子育てに要する費用負担の軽減の充実化が有効であると考えるので、出産に対する祝い金の拡充についても、考えていない。

保育料・子どもの医療費の無償化については、すでに担当課に、制度設計や財源の確保について検討させている。

堀田 居酒屋婚活・ランチ婚活など、新しいスタイルの婚活イベントを取り入れ、まず役場の独身職員が参加されてはどうか。

企画財政課長 今年度については、県・東彼三町合同でテーマを決め、それに基づいて婚活を実施したい。

町長 役場職員の参加についてはプライベートな事情があるので、本人の判断に任せることになる。

堀田 町内に小児科、耳鼻科などの診療所を含めた病院の誘致はできないか。

町長 令和2年に川棚医師確保事業助成金制度を設け、医師の確保に取り組んでいる。

健康推進課長 厚労省によると、長崎県は医師多数県と位置づけられている。

東彼三町の担当課長が医療センターの協議会に出席し、同時並行で佐世

保市等とも連携しながら、医師の確保を進めていきたい。

堀田 若者が働く場所として、町内に企業誘致の考えはないか。

町長 本町には適地があまりない状況である。

現在、川棚港の県有埋立地約4ヘクタールに、企業から問い合わせがあっている。

堀田 企業誘致も視野に町の魅力を大々的にアピールして欲しい。

企画財政課長 公式ライタ―を選任し、情報発信に取り組んでいる。



婚活支援キャンペーンチラシ



堀池 浩 議員

避難所における 簡易ベッドの利用は

本庁舎へ配備を検討している

町長

震度4以上の地震が全国各地で頻繁に発生している。また、梅雨に入り線状降水帯の発生や台風通過による浸水及び土砂災害が危惧される中、避難所運営の機能向上が求められる。

堀池 過去の質問で、簡易ベッドの導入を求めたが、まず、指定避難所にだけでも配備できないか。

町長 避難所における簡易ベッドの利用は、高齢者や介護が必要な方の足腰への負担軽減、エコノミークラス症候群の予防、感染症対策など多くのメリットがあるが、簡易ベッドの保管や耐久性についてクリアしなければならぬ問題も多くある。現在、本庁舎への配備について検討している。

総務課長 まずは本庁舎へ導入をし、検証をかさね、指定避難所へ広げていきたい。

堀池 災害時の災害対策本部と、自主防災組織との連携の進捗状況は。

町長 総代会と協議をおこない、長期の避難生活が必要とされる方の避難所として、地区公民館への受入れは困難であるとの意見が出された。災害等が起こる危険性がある場合は、川棚町中央公民館・いきがいセンターを避難所として開設する。

また、台風等により、避難される方が多数予想される場合は、川棚中学校、石木小学校、小串小学校を避難所として開設する。

堀池 これまでに自主防災組織へ備蓄品などの支給があったが、まだ不足している品物も多くある。水や食料品には消費期限があるため、3年ごとの補填は考えられないか。

町長 今後入れ替え等については、検討する。

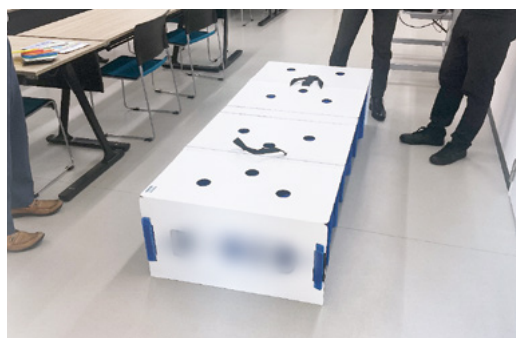
堀池 「川棚町洪水・土砂災害ハザードマップ」の活用方法は。

町長 すでに全世帯に配布しているハザードマップは、今後もさらに災害に備えていただくため、広報誌等を利用して、啓発をおこない、各地区で自主防災組織による訓練の際には、積極的に利用していただくようお願いしたい。

子宮頸がんワクチン接種
感染を防ぐには、ワクチン接種率の向上が重要である。

堀池 子宮頸がんワクチン接種率を向上させるため今後の対策と、男性のワクチン接種費用の助成を。

町長 女性の子宮頸がんワクチン接種率の向上に努めるが、男性へのワクチン接種の助成は考えていない。



導入が検討されている簡易ベッド

町有施設の屋外トイレ清掃を
業者に委託しては



山中美由紀 議員

清潔に管理をしていくよう
指示した

町長

町有の観光施設や公園の屋外トイレが汚れていると町民から指摘があった。多くの方が利用するため、常に清潔に保ってほしい。

山中 清掃・管理はどのようになっているか。常に清潔に保つため、業者に委託できないか。

町長 委託清掃業者、指定管理者、各地区で清掃・管理等をおこなっており、業者に委託する考えはない。

山中 施設によっては、清掃・管理が徹底されていないところが見受けられるが。

産業振興課長 指定管理者等に伝え、清掃・管理を徹底するよう指導する。

児童生徒の不登校対策について
不登校の子どもたちはどういうに過ごしているのか、気がかりである。

山中 児童生徒の不登校対策について 本町の実態と対応を尋ねる。

教育長 令和4年度末では、小中学校で29名、令和5年5月末では22名、別室、保健室登校者が3名である。

担任を中心に定期的な連絡や家庭訪問、面談等を通じて保護者および本人との継続的な連絡を図りながら、支援や指導をおこなっている。

山中 令和5年度の不登校対策はどのようなことを考えているか。

教育長 学校内では、管理職、担任を中心に職員間での情報の共有や連携を図りつつ、カウンセラー



やスクールソーシャルワーカーも参加する不登校ケース会議を定期的に開催している。状況に応じてタブレット端末を使用してリモート授業をおこなっている。

山中 教職を退職された方に協力をお願いしてはどうか。

教育長 必要に応じて協力をお願いしたい。

木場・川原地区の児童生徒の通学路について

通学路の安全が確保できるか、心配である。

山中 石木ダム建設に伴う、迂回路を通学する期間は。

教育長 迂回路を通学する事については、県からは何も説明は受けていない。

石木小学校長にも確認したが、協議はあっていない。

山中 迂回路について保護者を含め住民に周知徹底し、同意は得ているのか。

教育長 協議があっていないことから、同意は得ていない。

山中 通学バスの運行や経済的負担軽減を考えられないか。

町長 地域公共交通計画を策定し、持続可能な地域交通のあり方を検討する。

県河川課へ財政支援ができないか、相談している。





増山 真理 議員

川棚発「長崎バイカーズミーティング」の川棚開催を

川棚町での開催のため協力する

町長

町長 長崎バイカーズミーティングは、川棚町にゆかりのあるボランティアスタッフを中心とし、バイクを主な対象としながら、様々な交流と地域振興を目指す社会福祉チャリティーイベントである。

川棚町の観光活性化、交流人口拡大のため、川棚での継続開催をおこなう。

増山 第1回開催についてどのように感じたか。

町長 イベント開催の専門家でないスタッフが中心となり、約2000人規模のイベントを無事に成し遂げられたことは、大変素晴らしいことである。

自然豊かで風光明媚な川棚町の魅力を体感していただいたことは、今後の再来訪の契機となり心より感謝している。

増山 第2回が佐世保開催となったことへの考えは。

町長 昨年度のイベント開催に際し、一部苦情が寄せられ、今年度の会場の手配が困難であったと聞いており、残念に思っている。

「バイクイベントを通じて川棚町の良さを知っていただき、素通りせず川棚町に立ち寄ってほしい、大崎半島をライダーの聖地にしたい」という想いで活動されているものと認識している。定期的に本町で開催していただき、全国のライダーの方に情報を届けていただければ非常に心強く思う。

増山 来年度元開催について川棚町として、協力体制が構築できないか。

町長 長崎バイカーズミーティングの活動は川棚町の交流人口の拡大や、賑わいを創出し、熱い思いが継続開催につながる。そういった熱意は大切にしたい。

町としては、まちづくり活動と行政の既存事業の連携、後援名義の使用及び広報活動などが協力できる。

まちづくり団体の皆様が抱える課題は、団体ごとと違うと思うので、困りごとがあれば、相談してほしい。

増山 第2回が開催できなかったことは、非常に残念だったが、佐世保でおこなったことで、様々な発見があった。

町はこの経験を活かし、PRを含め、特に若い経営者に対して、セミナーなどを開く考えはないか。

町長 佐世保開催のときは産業振興課の人員が出向き、川棚町のPRに取り組んだ。

若い事業者に対してのセミナー活動は、商工会でもおこなっており、重複しないような内容で考える。



第1回川棚開催の様子

増山 佐世保開催直後より、関連Twitterにおける100件の無作為抽出をおこなった結果98件の高評価をいただいている。

全国から集まる多数の来場者に、特産品や観光スポットなどをアピールするとともに、ふるさと納税や観光収益増加、移住促進事業にも役立てたいと考える。

町長 来年度は3回目となるので、とりこぼしなく川棚町で協力できると、PRできることを精査しながら取り組んでいく。

石木ダムについて

町長

県と協力し、
いつでも話し合いができる



辻 清人 議員

町民は石木ダムについて、関心を持って見守っている。県の強引なやり方はおかしいと言っている。

辻 町は県に謝罪と現状復旧を求める必要があると思うがどうか。

公約に掲げられたダムと治水についての県との話し合いはどんな内容か。
1972年に取り交わされた覚書についてどう考えるか。

町長 町は県がおこなう工事等に対して、謝罪や現状復旧を求めるという立場にはないものと思う。公約に掲げているとおり、石木ダム建設については治水対策の一つとして推進の立場であり、知事との話し合いで解決できるよう取り組んでいく。

覚書は、ダム建設が技術的に実施可能であるかを調査研究するため締結したもので、その結果に

については当時の地元総代に回答されており、現在は覚書の効力はないものと引継ぎを受けている。

辻 町長は、利水より治水のほうが心配だと言ったが、川棚川の拡幅工事や浚渫工事で、治水はもう大丈夫ではないのか。

町長 浚渫工事等で大丈夫ではないかとの意見だが、ダムによって、おおむね100年程度の大雨には対応できると聞いている。住民の安心安全のためと考えている。

辻 川棚川の流量が10分の1の石木川にダムを造ること、効果があるのか。

町長 約10分の1といわれるが、10分の1でも効果があるのであれば、効果があると判断する。

子育て世代の支援について

賃金も上がらず、物価高で生活が本当に厳しい。給食費、医療費を無償化すると随分と助かるのではないかと。

辻 小中学校の給食費の無償化について、4月から中学3年生だけが無償になっている。小中学生の給食費を完全無償でできないか。
また、すべての子どもの医療費を無償化にできないか。

町長 給食費及び子どもの医療費の無償化について、将来的な完全無償化に向けて、段階的に進めている。



川棚中学校 給食の様子

高齢者支援について

日ごろから不自由をしているという高齢者からの要望を受けている。

辻 補聴器購入の助成を取り組めないか。

町長 購入の助成については国や県、県内他の自治体の動向を注視しながら、総合的に検討したい。

辻 乗り合いタクシーなどの検討がなされていると聞くが、どんな検討か。

町長 乗り合いタクシーについては、今年度内に地域公共交通計画を策定するが、今年度内の運行は難しい。

できるだけ早い時期に運行できるように検討する。





炭谷 猛 議員

石木ダム建設現場 「川原郷の自然環境」を守りたい

話し合いに協力願いたい

町長

石木川では、無数のゲンジボタルの乱舞する景観が続いている。

いつまでもこの環境と自然の恵みを残したい。

炭谷 県知事とは何回会ったのか。その内容と時期は。

町長 非公式も含め4回ほど会っているが、内容については差し控えたい。

炭谷 行政代執行がおこなわれれば、町長としてどう対応するか。

町長 石木ダム建設事業に対して是非ご協力いただきたいと思っており、知事との話し合いで解決することを願っている。

私自身も行政代執行にはならないように、県や市と連携を密にして、反対しておられる住民の方と話し合いの場を持たれるよう努めていきたい。行政代執行がおこなわれないように知事との話

し合いへの協力をお願いしたい。

炭谷 石木ダム現地住民にどのような姿勢で対応をおこなうのか。

町長 自分たちの土地を守りたい、ここに住み続けたい、という思いは十分に伝わっている。

下流域では大雨のたびに洪水被害への不安があり、台風の大規模化や線状降水帯などによる大雨が日本各地で発生しており、人命が奪われた事案もある。

川棚川の下流域、ダムに関係する下流域で、一つの命も失ってはいけないと思っている。そのためにも石木ダム建設事業に対して是非ご協力いただき、話し合いで解決できるようお願いしている。

川原地区にお住まいの13世帯の皆様も、ぜひ協力していただきたく「お願いの姿勢」で対応させていただいている。

炭谷 どのような根拠で会おうと考えているのか。

町長 現在工事が進められており、話し合いはおこなわれていないようである。このまま生活再建に向けた話し合いがなされないままに、ダム建設工事が進むことになれば、悔いを残すことになり、遺憾に思う。

川原にお住まいの皆様が行く末を案じているので、今後の生活再建についての話し合いに応じていただきたい。

炭谷 現地へ何回出向き、意見を聞いたのか。

町長 就任以来、3回川原地区へ戸別訪問し、気持ちを聞かせてもらった。

ホタルの生息地である自然を守りたいという気持ちは理解しているが、人命には代えられないとの思いである。

炭谷 町長が変わったのだから、姿勢を打ち出しているのでは。

町長 河川管理者の県は、ダム事業の検証に係る検討において、現行計画案である石木ダム案が、他の代替案と比較して優位であると結論が出され、事業継続の対応方針が示されている。

このような経緯がある中で、町長として住民の安心・安全な暮らしを守る義務があり、川棚川下流域の住民の生命・財産を守るために、本町の治水対策は必要と考える。石木ダム建設に伴い、苦渋の決断をいただき、断腸の思いでふるさとをあとにされた54世帯の方々の気持ちも聞いています。

川原地区の方々に、県知事との話し合いの場をもつていただきたい。このような姿勢で取り組んでいる。





町民交流スペースで 一般質問 ライブ中継

議会改革の一環として、6月定例会から本会議における一般質問の様様を町民の皆様にご覧いただけるよう、役場1階ロビーの町民交流スペースでモニターによるライブ中継を始めました。

新議員研修会（県町村議会議長会主催）

研修日 令和5年6月27日（火）
研修場所 長崎県市町村会館
研修内容 「議会運営と質問の基本的考え方」「地方議員をめぐる最近の動き」について、元全国都道府県議会議長会事務局次長内田一夫氏による講演があり、地方議会の役割や政治倫理・議員のコンプライアンス等を、詳しく講演された。



議員研修会（県町村議会議長会主催）

研修日 令和5年7月11日（火）
研修場所 長崎県市町村会館
研修内容 「議事機関としての質疑・質問のあり方」と題し、早稲田大学マニフェスト研究所ローカル・マネージャー（兼）招聘研究員、崇城大学非常勤講師長内紳悟氏による講演及び、「防災・減災・危機管理への対応」と題し、防災システム研究所所長、防災・危機管理アドバイザー山村武彦氏による講演を受けた。



あ と が き

新人議員5人が一丸となり、過去の議会だよりを参考にしながら、編集作業に取り組みました。

審議・審査の経過や、活動報告など、町民の皆様へわかりやすくお伝えできるよう、また興味を持っていただけるよう、工夫しながら編集してまいりますので、よろしくお願いたします。（増山）

○6月定例会は、42人の傍聴がありました。

議会だより

編集特別委員会

委員長 小田 成実
副委員長 山中美由紀

増山 真理

坂中 信浩

辻 清人

小牟田一紀

発行責任者

議長 村井 達己